る目も恥しく強ひておし怺えてゐた。

「さてかうした事は變な事ですが、私をその菴室へ案内して下さる事は出來ますまいか。夢のやうな昔語を語り合ひたいのですが」なごいふ。僧都は今日、明日は差支があつて下山はかなはないこ云ふ。浮舟の弟をよんで僧都にひき合せて、この童に手紙を持たせてやりたいから一筆書いてくれごいふ。僧都は

「御自身でいらしつてお話なさいませ何もおさしつかへもありますまい」こいふ。日暮に山を下りた。

小野では深く茂つた青葉の山に對して遣水の螢を昔の友こ思ひ慰めて、浮舟尼は眺め出してゐる。遙に見やられる谷の軒端から人拂の聲も靜に聞えて、松明の火影も多く見える。

誰方だらう。畫山に使をやつた返事に大將樣がいらしつてお待遇をする際で、丁度よかつたなごいつて來たが、ひよつこしたら大將樣かもしれない」なご菴主の尼かいふこ、

「大將樣つて二宮樣を奥方にしていらつしやる方でせうか」こ他の尼達が應じる。浮舟は人拂

の聲に昔き、馴れた隨身の聲なご思ひ浮べられて、昔を忘れ得ぬ事の心憂く唱名に紛らしておし默つてゐた。薫はその夜浮舟の弟を庵室へこ思つたが人目を憚つて果さずに歸京した。

翌日人のゐない間に童を召して、

「お前は死んだ姉樣の顔を覺えてゐるか。姉樣は死んだこばかり思つてゐたが、まだ生きてゐる事が判つたから、行つて逢つておいで。母樣にはまだ默つておいで」なごいつて、宇治の供にも伴れて行つた二三人の男に童を送らせた。その朝早く僧都から小野へ使が來た。

昨夜大將殿のお使で童が參りませんでしたか。事情を承つて私もごうしてよいやら分らなくなつてしまひましたこ姫君に申し上げてください。二三日中にお目にかゝつて詳しく申し上げませう。

庵主の尼はごうした事かこたゞ驚かれて、浮舟尼にこの手紙を見せた。浮舟尼は面がほてつて來て返事もえせずにゐた。

「山の僧都のお手紙を頂いて來た者です」こ訪ふ者があつた。尼君が對面するこ、僧都の消息

を出した。宛名は「入道の嬢君御許に」なご書いてある。浮舟尼は恥しさに奥の間に入つて顔もよう上げずにゐた。使に來たのは自分の弟で、入水の時にも殊に戀しく思うた人の一人である。逢つて母の事なども聞きたいと思ふと、悲しくなつて涙も出る。尼君は出て童に逢ふ事をすゝめるのだけれど、今更に自分の生存してゐた事を知られたくない、殊に薫にはなご思ふ。童は薫の手紙を出して、

「この手紙をも上げたいのです」こいふ。尼達は氣の毒になつて、簾の内へ入れて

「その方はこゝにいらつしやるのですよ」こいつて浮舟尼をそこの几帳の近くへおしやつた。

「早く御返事をいたゞいて歸りたいのですが」

こいふので、尼君が薫の手紙をひき解いて見せる。昔ながらの筆蹟も美しく、紙の香なども世にもめでたく染んでゐる。

あなたの輕々しかつた行爲を責めようこ私は思つてゐない。たゞあの淺ましかつた夢語だけでも致したいこ思うてゐます。

法の師こ尋ぬる道をしるべにて思はぬ山にふみ惑ふかな

この人をお見忘れですか。私があなたの形見こ思つて懐しんでゐる人です。

なご書いてあつた。ごう返事していゝか、泣くより外に仕方はない。たゞ昔の事は何にも思ひ出せない、少し心が落着いてから萬事は話さうなごいふばかりなのを、尼君達も

「物の怪のせいか、ごうも御氣分がすぐれないで困るのですよ。常に御心配事がおありなのでせう、そのためにすつかり物忘れしておしまひなのです」なご取り做すのであつた。

「折角私がお使に來たかひに、一言でも御返事を聞きたいこ思ふのですが」こ童のいふのを尼君達は尤もこ思つて浮舟に勸めるが、やはり泣くのみで返事はない。

「たゞかう泣いてばかりいらつしやるこ御返事なさるより仕方がありますまいね。さう都から遠くもない所ですから、田舍ですが是非またいらつしやいね」なご慰めてくれる尼君達に別れて童は歸る。折角姉を戀うてたづねて行つたかひもなく、物足らぬ心をいだきつゝ。

薫は童の歸りをいつしかこ待つてゐる所へ童は力ない歩みを運んで歸つて來た。童が庵室で

の一什一伍を詳しく話すのをきいた薫は知らなかつた前よりも却て恐しくも恨しくも思はれていろ〳〵な事が推量される。或は誰れかの情人として、あゝした所へ隠くされてゐるのではなからうかなぞも思はれるのであつた。

——をはり——

源氏物語 下編

昭和五年八月一日印刷
昭和五年八月五日發行

新譯源氏物語
定價金八拾錢

著作者 櫻園書院編輯部
發行者 大阪市東區伏見町五丁目貳番地 藤原久吉郎
印刷者 大阪市西區阿波座二番町一番地 日本印刷製本株式會社 代表者 堀越幸

不許複製

發行所 大阪市東區伏見町五丁目二番地 振替大阪六二一九番 櫻園書院
東京市日本橋區吳服橋二丁目 振替東京二三七一番 六合館
發賣所 大阪市東區北久太郎町四丁目 振替大阪二三一番 合資會社 柳原書店

櫻園書院出版書目

萩原廣道著　**源氏物語評釋**　全壹册　定價金五圓　送料金貳拾七錢

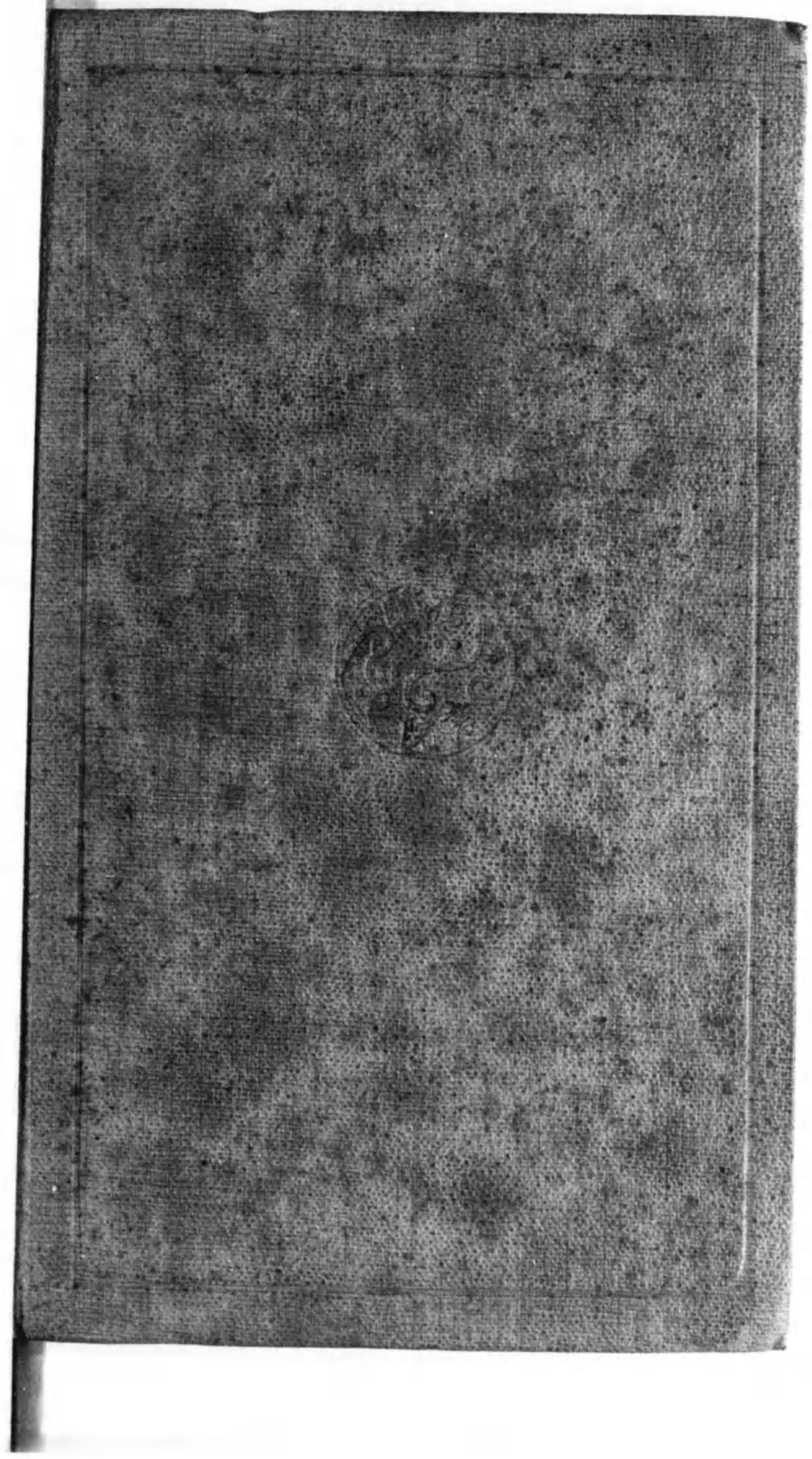
文學士 大林德太郎著　標註 **十六夜日記**　全壹册　定價金壹圓　送料金六錢

文學士 大林德太郎著　**謠曲と狂言**　全壹册　定價金壹圓參拾錢　送料金六錢

星野忠直著　冠註傍解 **土佐日記**　全壹册　定價金參拾錢　送料金貳錢

星野忠直著　冠註傍解 **方丈記**　全壹册　定價金貳拾五錢　送料金貳錢

室松岩雄著　**明倫歌集略解**　全壹册　定價金壹圓五拾錢　送料金八錢

水穗會著　**古事記講義**　全壹册　定價金四圓五拾錢　送料金貳拾七錢

終